

御挨拶

会長 小山 博

令和二年度は、コロナ禍のために、予定していた行事の中止や変更を余儀なくされるといいう大変な年でした。

そうした中、倉敷南地区社協の役員は知恵を絞って、新しい事業にも取り組みました。ご紹介します。

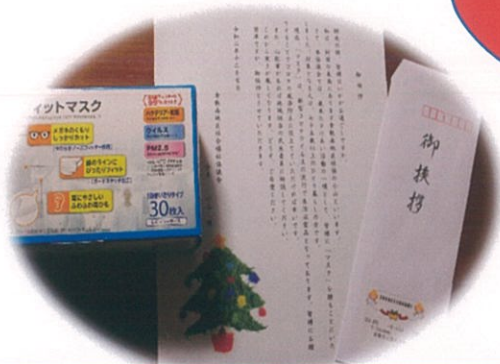
また、例年どおり、「社会福祉協議会の会員募集」「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい運動」にご協力いただき、ありがとうございます。

なお、右記の「赤い羽根共同募金」等の一部は、地区社協の補助金に還元されています。

民生委員の皆様、各町内の組長さんには大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

歳末たすけあい事業

NEW



昨年度は、倉敷南小学校の「もちつき大会」の助成を「歳末たすけあい事業」に位置付けていました。今年度は、75歳以上のひとり暮らしの方に「マスク」を贈らせていただくことを新しい事業として実施しました。今、「マスク」は毎日の必需品となっています。各地区の民生委員が訪問し、手渡しをしたのですが、「まあまあ、ありがとうね」と喜んでくださり、ひとときの楽しい交流ができました。

サロン活動支援事業

今年も、4町内6グループに、助成金をお渡ししました。

独居老人訪問事業

毎月1回のお弁当のお届けでしたが、新型コロナウイルスの感染状況を見ながらの実施となりました。

世代間の交流事業

(みなみ文化祭に代わる事業)

短歌・俳句・川柳を出品してくださった方へ記念のボールペンを差し上げました。

地域交流事業

西富井と東富井のグラウンド・ゴルフの大会に助成金をお渡ししました。

